

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103676		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホーム よってきんさい本浦		
所在地	〒734-0047 広島市南区本浦町27番18号 電話082-508-2626		
自己評価作成日	令和2年2月7日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103676-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年2月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

1ユニットから2ユニットに新築し今年で5年目になるホームです。町内会に加入し、地域の中のグループホームである事を大切にしながら、行事や散歩で交流させていただいています。家庭的な雰囲気の中でその人らしく笑顔で生き生きと生活できる場所、ご家族にとっても利用者様と穏やかな気持ちで接することが出来る場所になるよう日々努力しています。事業所開設以来、家庭医の協力を得て看取りを継続し、又24時間の看護体制を整え、看護、介護両方で入居者のターミナルケア、緩和ケア、通所者のケアや送迎等を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

最近の特徴的な取組みとして第一に「運営に関する職員意見の反映」「就業環境の整備」等に深化がある。即ち、最近の職員気質の変容の中で安心して長く働ける職場風土の醸成に尽力している。風通しの良い職場関係作りを目指して普段からのコミュニケーションを大切にしている。毎月の職員会議、代表者・補佐と年1回及び管理者との随時の個別面談等を通して意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案等に対する支援体制を採っている。又、年間の研修計画他で資質向上を図る体制もあり、研修の為に勤務時間の調整や資格取得者には成果報酬授与等の支援もある。第二に「地域交流」の深化がある。即ち、日頃から散歩等で地域住民と挨拶を交わし、町内会にも加入して夏祭りや毎月の地域サロン等、地域行事にも参加して馴染みの関係作りに繋がっている。

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>開設当初より、地域に密着したホームという理念を作り、職員全員で取り組んでいる。</p>	<p>法人理念を事業所理念とし、毎日の申し送り時に唱和して意識統一を図り、ケアを実践する上での立ち返るべき原点としている。又、利用者の生活歴に沿った個別的な生活作りを目指し、利用者への対応や状態変化等を振り返り、その気付きを毎月の職員会議で意見交換をして理念の実践・達成度を評価している。</p>	<p>開設時の理念の策定から17年を迎え、理念の周知や実践につき、より深く取り組むことで更なる向上を期待したい。例えば、理念の下に事業所で分り易い具体的な年間行動目標・計画を設定し、定期的に達成度を検証する案など、評価の検証過程を「可視化」することで、職員間の認識を共有化して理念の深化・定着を期待したい。</p>
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>町内会に加入し、毎月地域サロンに参加し交流している。回覧板は利用者と一緒に持って行っている。</p>	<p>日頃から散歩等で地域住民と挨拶を交わしている。町内会に加入し、盆祭りや敬老会等の地域行事の他、毎月開催される地域の「いきいきサロン」にも利用者と参加して馴染みの関係作りに繋がっている。又、近隣保育園の運動会見学や地域行事の亥の子祭り等での世代間交流にも取り組んでいる。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>推進会議や地域サロンに出かけたとき、質問や相談に答えている。事業所で対応困難な場合には、事務所に繋げ対応している。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>事業所での活動や日頃の様子などを報告している。町内の情報を頂き行事参加の予定を立てている。</p>	<p>会議は定期的開催され、利用者・民生委員・地域包括支援センター職員が毎回、時に家族代表が参加している。会議では事業所の現況・活動報告や意見交換が行われ、先般の豪雨災害での避難状況や災害時に事業所を一時的な避難場所として提供が可能な旨の情報発信をした経緯がある。</p>	<p>参加者の意見が運営に一定反映されているが活発な意見交換の場とは言い難い。現在は議事録が公表されておらず、参加していない家族への「事業所運営に関する情報」が共有されていない。今後は議事録を送付する案等、会議録公表に取り組み、より多くの家族が会議に参加することを期待したい。</p>
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>日頃より相談や報告があれば、法人として市町と連絡を取っている。市主催の研修会や集団指導に参加し情報を得ている。</p>	<p>運営推進会議には地域包括支援センター職員が毎回参加し情報共有を図っている。又、市担当者とは日頃から相談・報告を行い、行政主催の感染症対策・集団指導等の研修会への参加や市委託事業の地域サロン・徘徊SOSネットワーク模擬訓練等への協力を通じて協力関係の構築を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを基に身体拘束を行わないことを学んでいる。日中玄関は施錠していない。食食用エプロンや「ちょっと待って」の声掛けも拘束ととらえ、職員同士お互い注意し合っている。	研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、食食用エプロンに替えタオル対応等、具体的なケアの中で実践を重ねている。日中は玄関を施錠せず見守りをしたり、床センサーマットを設置している。毎月職員会議で事例検討を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内外研修で学んでいる。職員同士注意し合い、虐待がないように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修で学び理解に努めている。必要時、上司に報告、相談し支援に繋がっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には重要事項説明書や契約書によりわかりやすく説明を行っている。理解納得して頂けるまで説明している。不安や疑問があれば、いつでも質問を受ける事を伝えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。面会時には意見や要望を聞く様になっている。直接施設代表者に連絡される場合もある。改善や気を付けるべきことなど、管理者会議で話し合い、現場の運営に活かしている。	利用者の意見は日々の会話の中で、家族とは面会・介護計画見直し時・意見箱等を介して管理者や職員が把握する様に努めており申し送りノート等で共有をしている。家族からの要望で利用者の強みを活かして針仕事を支援した結果、ボタン付け等にも挑戦され、生活の活性化に繋がった経緯がある。	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>意見や提案がある場合は、ミーティング時に話し合い改善につなげるようにしている。必要時には法人代表者に提案し、意見の反映につながるよう取り組んでいる。</p>	<p>毎日の申し送り、毎月の職員会議、代表者・補佐と年1回及び管理者との随時の個別面談を通して意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案や業務の進捗状況等に対する支援体制を採っている。職員間の意思疎通も図り易く、職員提案により勤務時間の変更による業務調整を図った例もある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>申し送りや事業所訪問で状況の把握に努めている。研修や勉強会の為に勤務時間の調整を行ったり、資格取得者にはお祝いをし努力をたたえ、他の職員の励みになるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>資格の取得や社内外の研修に参加できるよう勤務時間の調整を行うなどの配慮をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>市や地域の研修会に参加し他事業者との交流を図り、意見など取り入れサービス向上に努力している。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に訪問し本人や家族より情報を得ている。施設見学をして頂きながらお話を伺い、必要時には何度も自宅や病院に訪問している。お試しに泊まって頂く事もある。</p>		

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の訪問や見学時に困りごとや不安な事をお聞きし、対応しながら入居にあたっての準備をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	訪問や見学時に得た情報で、必要時には上司に相談し他のサービスの説明も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	共生を念頭に一緒に作業や家事を行っている。料理の仕方や味付けを相談しその方の強みが励みになるよう関わっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ホームでの様子を面会時やお手紙などでお伝えし、困りごとや対応の仕方など相談している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族や知人の訪問時にはお部屋でゆっくりお話しいただけるよう配慮し、必要時には昼食を準備し一緒に召し上がって頂いている。又、馴染みの病院や理容院にお連れしている。	「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にしている。近くの家族や元教え子等の面会もある。家族の協力も得ながら馴染みの理美容院や墓参り・孫の結婚式への参列等、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様になっている。電話や年賀状等のやり取りも日常的である。	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の相性を考えテーブルやソファの席を決めている。職員が間に入り、利用者同士が関わりあえるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院や施設転居時には情報提供を行い、物品準備などもお手伝いしている。退去後も希望があれば相談を受けている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前面接や見学時に希望や意向を本人や家族から聞き取りし、把握に努めている。会話困難な場合には、表情や仕草などから思いをくみ取るよう努力し、話し合いを行っている。	利用開始時に利用者の習慣や好み等の情報を集約し、その後はその方の気持ちを大事にしながらゆっくり話す時間を作り行動を理解する様努め、家族情報も参考に申し送りノート等で共有している。又、意思疎通困難な利用者には眼差し・指先の動き等をよく観察して思いを推測し関係作りをしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の関係者や本人、家族より聞き取りし把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の生活する中で、様子やその時々々の状況を記録しアセスメントすることで現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式を用いてアセスメントしている。面会時などホームでの様子をお話しながら意見や要望の聞き取りをしている。医師や職員からも意見をもらい、介護計画を作成している。</p>	<p>利用者毎の担当職員・計画作成担当者が情報収集し、計画作成担当者による原案を面会時等に家族の同意を得て本案としている。毎月モニタリングを行い、半年を基本に計画を見直している。利用者の強みを活かした針仕事を立案しボタン付け等にも挑戦され、役割作りに繋がった例もある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日個々の生活日誌に体調や生活の様子、気づきを記録し介護計画に繋がっている。大事なことは申し送りノートに記録し、職員全員が把握できるよう努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>家族の状況により通院や入院時に付添、対応している。入院中も洗濯物を届けるなどしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のサロンや祭りなどの行事に出かけたり、近所の公園や事業所周辺の散歩に出かけ気分転換して頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の係りつけ医を希望される場合は継続して頂き、希望がない場合には家族や本人に納得して頂いたうえで家庭医の診察を受けて頂いている。入居後、病状によっては適切な病院を紹介して頂いている。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、全ての利用者は協力医を主治医としている。内科協力医から隔週毎の往診があり、専門科の受診は家族や事業所の協力による。看護資格を有する介護職員4名の内、夜勤専門2名の一人が1又は2階のいずれかに配置している。</p>	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日頃の様子を毎日報告している。いつもと違う様子の時はすぐに連絡し対応している。必要時には受診に付き添っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には職員が付添、様子を伝えている。入院後も面会に行き、必要に応じて食事介助や洗濯など行っている。退院に向けて早期より話し合いをしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に看取りまで行う事をお話ししている。重度化した場合、改めて説明し意向を確認している。医師の協力のもと、管理者、職員、法人看護師と情報を共有しながら取り組んでいる。</p>	<p>要望があれば看取りを行なう方針である。入居時に「重度化した場合における対応に係る指針」にて説明し了解を得ている。重度化した際には家族等、関係者で話し合いを行い書面による同意の下、支援を行い数例の経験もある。看取り後の振り返りも行う。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>事故発生時マニュアルを作成し、研修を重ね対応を学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を年2回行っている。法人全体で連絡体制をとり、ハザードマップでの事業所の位置を確認し、又、食糧や寝具など備えている。地域での消火訓練時には職員も参加し努力している。</p>	<p>年2回の避難訓練を夜間想定、利用者参加を含め実施している。地域に対しては町内会等で災害時の協力要請と共に事業所を一時的な避難施設として利用可能な旨を発信しており、地域での防災訓練にも職員が参加し協力体制を築いている。先般の豪雨災害では近隣の系列事業所からの避難を受け入れた。</p>	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修でプライバシーを損ねない言葉かけなど学んでいる。日々の生活の中で職員同士お互い注意しあいながら、配慮した言葉かけを行っている。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者に対する言葉かけも不適切な対応には指導を行い、気づく事の重要性や望ましい対応を意識できる職員育成に取り組んでいる。居室の表札等、個人情報についても利用者・家族の意向に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	毎日の生活の中で選択し、決定出来るよう場面設定し、声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日課は決まっているが、その中で体調に合わせて、希望に合わせて過ぎして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日頃よりその人らしい服装で過ごせるよう支援している。男性は髭剃りをし、女性でお化粧が好きな方には毎日して頂き、継続できるよう声かけしている。外出時には普段よりおしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節や行事食を取り入れ、お誕生日には希望の食事を準備している。毎週火曜日はお刺身を提供し、日曜日本曜日の朝はパン食の日にし、皆さんに喜んでいただいている。	配食業者の献立を参考に利用者と食材購入をして職員による三食手作りである。週一の刺身、週二のパン食、誕生日は希望の赤飯等、好みも反映している。利用者は盛り付け等、役割に応じた協力を行い、畑で取れた野菜が食卓に上ることもある。工夫を凝らした行事食や巻き寿司作りも行っている。	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>茶碗の大きさなど個々に合ったものを使用している。食事量によっては、バナナ、パン等補食している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアをしている。本人の力に合わせ不足部分は介助している。口腔の状態によっては、ハミングッドを使用しケアしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄のパターンを把握し、個々に合わせたトイレ誘導を行っている。夜間はポータブルトイレを設置し可能な限りトイレでの排泄が出来るよう支援している。</p>	<p>排泄記録表等でパターンを把握し、トイレ誘導を基本としている。排泄の自立支援として日中は布パンツ、夜間は紙おむつとパッド等、排泄状態に応じたパッド類の選定や便秘対策等もある。可動式手すりや夜間排泄時の転倒防止の為、ポータブルトイレ・床センサーマット設置等の環境整備もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎朝、牛乳を飲んで頂いたり、運動や散歩を心掛け便秘にならないよう注意している。主治医と相談し内服コントロールしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外はお風呂を沸かし、週3回は入浴できるよう支援している。季節に合わせてしょうぶ湯や柚子湯を楽しんで頂いている。</p>	<p>週3回の午後浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせて好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者負担を考慮し複数介助やシャワー浴等に対応することもある。据え置き式家庭浴槽で浴槽周辺も介助スペースを設ける等の環境整備の他、冬至の柚子湯・五月の菖蒲湯も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	定期的にシーツ交換や布団干しをし、気持ちよく休んで頂けるよう支援している。日中は活動をしっかりし、夜間の安眠へとつなげている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書やお薬手帳により、理解し把握している。服薬時には名前、日にちを声を出して確認している。臨時薬服用時には、特に体調の変化に注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの得意な事やできる事を把握し、その力が発揮できるよう関わっている。好みの歌番組や野球、手作業など楽しみ事が継続できるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候や体調に合わせ、散歩や買い物に出かけている。家族と食事や受診に出かけられる際には、外出先で困らないよう持ち物などの準備を支援している。	日頃から散歩や買い物等を少人数で楽しんでいる。毎年恒例の初詣・花見等の他、個別的な外出支援にも取り組み、数ヶ月前から利用者の体調を整えて孫の結婚式参列に繋げた経緯がある。又とんど祭り・敬老会・地域サロン等、普段は行けないような地域行事に参加し「非日常」を楽しむこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	預り金や立替金として、買い物に出かけたとき支払いが出来る方にはして頂いている。		

自己評価	外部評価	一階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人より要望があれば電話をかけている。年賀状、手紙等は同行し投函している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には手作りのネームプレートをかけている。季節のお花を生けたり、壁画を作っている。	季節の花や正月・七夕他、季節行事の飾り付けや利用者とする貼り絵・習字・絵馬等の「壁掛け作品」で季節の移ろいを感じられる。又、日中は臭いや感染症対策で換気に留意している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席は相性で決めているソファは2か所設置し、テレビを見たり談笑できるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れたタンス等を持参頂き、一緒に居室づくりをしている。	居室にはベッド・タンス等が備え付けられ、鏡台・テレビ等、使い慣れた物や仏壇等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。換気や掃除を行い、利用者によっては夜間排泄時の転倒防止のためポータブルトイレや床センサーマットを設置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーで、手すりを壁面に設置している。下膳等出来る事はなるべくして頂いている。		

V アウトカム項目(一階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	開設当初より、地域に密着したホームという理念を作り、職員全員で取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、毎月地域サロンに参加し交流している。回覧板は利用者と一緒に持って行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	推進会議や地域サロンに出かけたとき、質問や相談に答えている。事業所では対応困難な場合には、事務所に繋げ対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所での活動や日頃の様子などを報告している。町内の情報を頂き行事参加の予定を立てている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃より相談や報告があれば、法人として市町と連絡を取っている。市主催の研修会や集団指導に参加し情報を得ている。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを元に身体拘束を行わない事を学んでいる。日中玄関は施錠していない。食事用エプロンや「ちょっと待って」の声掛けも拘束ととらえ、職員同士お互い注意し合っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内外研修で学んでいる。職員同士注意し合い、虐待がないように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修で学び理解に努めている。必要時上司に報告、相談し支援に繋げている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には重要事項説明書や契約書によりわかりやすく説明を行っている。理解し納得して頂けるまで説明している。不安や疑問があれば、いつでも質問を受けることを伝えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。面会時には意見や要望を聞く様になっている。直接施設代表者に連絡される場合もある。改善すべきことや気を付けるべきことなど、管理者会議で話し合い、現場の運営に活かしている。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>意見や提案がある場合は、ミーティング時に話し合い改善につなげるようにしている。必要時には法人代表者に提案し、意見の反映につながるよう取り組んでいる。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>申し送りや事業所の訪問で、状況の把握に努めている。研修や勉強会の為に勤務時間の調整を行ったり、資格取得者にはお祝いをし努力をたたえ、他の職員の励みになるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>資格の取得や社内外の研修に参加できるよう勤務時間の調整を行うなどの配慮をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>市や地域の研修会に参加し他事業者との交流を図り、意見など取り入れサービス向上に努力している。</p>		
にゆうきよ					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に訪問し本人や家族より情報を得ている。施設見学をして頂きながらお話を伺い、必要時には何度も自宅や病院に訪問している。お試しに泊まって頂く事もある。</p>		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の訪問や見学時に困りごとや不安な事をお聞きし、対応しながら入居にあたっての準備をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	訪問や見学時に得た情報で、必要時には上司に相談し他のサービスの説明も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	共生を念頭に一緒に作業や家事を行っている。料理の仕方や味付けを相談しその方の強みが励みになるよう関わっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ホームでの様子を面会時やお手紙などでお伝えし、困りごとや対応の仕方など相談している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族や知人の訪問時にはお部屋でゆっくりお話しいただけるよう配慮し、必要時には昼食を準備し一緒に召し上がって頂いている。又、馴染みの病院や理容院にお連れしている。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の相性を考えテーブルやソファの席を決めている。職員が間に入り、利用者同士が関わりあえるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院や施設転居時には情報提供を行い、物品準備などお手伝いしている。退去後も希望があれば相談を受けている。		
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前面接や見学時に希望や意向を本人や家族から聞き取りし、把握に努めている。会話等困難な場合には、表情や仕草などから思いをくみ取るよう努力し、話し合いを行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の関係者や本人、家族より聞き取りし把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の生活する中で、様子やその時々々の状況を記録しアセスメントすることで現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	センター方式を用いアセスメントしている。面会時などホームでの様子をお話しする中で意見や要望の聞き取りをしている。医師や職員からも意見をもらい、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日個々の生活日誌に体調や生活の様子、気づきを記録し介護計画に繋げている。大事なことは申し送りノートに記録し、職員全員が把握できるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	家族の状況により通院や入院時に付添、対応している。入院中にも洗濯物を届けるなどしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のサロンや祭りなどの行事に出かけたり、近所の公園や事業所周辺の散歩に出かけ気分転換して頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居前の係りつけ医を希望される場合は継続して頂き、希望がない場合には家族や本人に納得して頂いたうえで家庭医の診察を受けて頂いている。入居後、病状によっては適切な病院を紹介して頂いている。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日頃の様子を毎日報告している。いつもと違う様子の時はすぐに連絡し対応している。必要時には受診に付き添っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には職員が付添、様子を伝えている。入院後も面会に行き、必要に応じて食事介助や洗濯など行っている。退院に向けて早期より話し合いをしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に看取りまで行うことをお話ししている。重度化した場合、改めて説明し意向を確認している。医師の協力のもと、管理者、職員、法人看護師と情報を共有しながら取り組んでいる。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>事故発生時マニュアルを作成し、研修を重ね対応を学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を年2回行っている。法人全体で連絡体制を取り、ハザードマップでの事業所の位置を確認し、又、食糧や寝具など備えている。地域での消火訓練時には職員も参加し努力している。</p>		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修でプライバシーを損ねない言葉かけなど学んでいる。日々の生活の中で職員同士お互い注意しあいながら、配慮した言葉かけを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	毎日の生活の中で、飲みたいもの、食みたいもの、したい事、着たい服などで決める機会を提供し働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	毎日の日課は決まっているが、その中で自分のしたい事など体調に合わせて出来るよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日頃よりその人らしい服装で過ごせるよう支援している。男性は髭剃りをし、女性でお化粧が好きな方には毎日して頂き、継続できるよう声掛けしている。外出時には普段よりおしゃれし楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節や行事食を取り入れ、お誕生日には希望の食事を準備している。毎週火曜日はお刺身を提供し、日曜日木曜日の朝はパン食の日にし、皆さんに喜んでいただいている。		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>茶碗の大きさなど個々に合ったものを使用している。食事量によっては、バナナ、パン等捕食している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアをしている。個々に応じてハミングッドを使用している。訪問歯科を利用している方もいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄のパターンを把握し、個々に合わせたトイレ誘導を行っている。夜間はポータブルトイレを設置し可能な限りトイレでの排泄ができるよう支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎朝牛乳を飲んで頂いたり、運動や散歩を心掛け便秘にならないよう注意している。主治医と相談し内服コントロールしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外はお風呂を沸かし、週3回は入浴できるよう支援している。季節に合わせてしょうぶ湯や柚子湯を楽しんで頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>定期的にシーツ交換や布団干し をし、気持ちよく休んで頂ける よう支援している。日中は活動 をしっかりとし、夜間の安眠へ とつなげている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬の説明書やお薬手帳により理 解、把握している。服薬時には 名前、日にちを声を出して確認 している。臨時薬服用時には、 特に体調の変化に注意してい る。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの得意な事やできる 事を把握し、その力が発揮でき るよう関わっている。好みの歌 番組や野球、手作業など楽し み事が継続できるよう支援して いる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>天候や体調に合わせ、散歩や買 い物に出かけている。家族と食 事やお孫さんの結婚式に出席 するため数か月前より体調を整 えるなど本人、家族、職員が 協力し外出支援を行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>預かり金や立替金として、買い 物に出かけたとき支払いが出来 る方にはして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	二階	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人より要望があれば電話をかけている。年賀状、手紙等は同行し投函している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には手作りのネームプレートをかけている。季節のお花を生けたり、壁画を作っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席は相性で決めている。ソファは2か所設置し、テレビを見たり談笑出来るようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れたタンス等を持ってきていただき、一緒に居室づくりをしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーで、手すりを壁面に設置している。下膳等できる事はなるべくして頂いている。		

V アウトカム項目(二階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい本浦

作成日 令和2年4月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への参加者が限られている。	運営推進会議の充実。	地域の方やご家族へ参加を呼び掛けていく。	1年
2	1	理念の周知や実践により深く取り組む。	評価の検証過程を可視化する。	年間目標を具体的に立て、定期的に達成度を検証する。	1年
3					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。